

令和2年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の学びを深め進路実現を図る教育課程を編成し、学習意欲と学力を向上させる。</li> <li>カリキュラム・マネジメントを推進し、協働的に課題発見・解決できるグローバルリーダーを育成する。</li> <li>特別活動等を通して主体性、社会性、協働性、創造力等の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の個に応じた進路実現のための教育課程編成と履修指導をとおして学習意欲を向上させる。</li> <li>②教科横断的授業をより深化させる。</li> <li>③総合的な探究の時間をとおして生徒の批判的思考力を育成する。</li> <li>④学校行事をとおして生徒の企画力と協働性を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新学習指導要領の実施に向けて、生徒の進路実現を図る教育課程を編成する。</li> <li>②進路との関連を重視した履修指導を充実させる。</li> <li>③指導と評価についての検討を始める。</li> <li>④育成する能力を定め教科横断的授業の実践と研究協議会を行う。</li> <li>⑤SDGsなど社会とのつながりを意識したテーマ研究となるように指導方法を検討する。</li> <li>⑥生徒が多角的な視点で学校行事を企画・運営できるように教員が支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の進路実現を図る教育課程を編成できたか。</li> <li>②履修指導を組織的に行い、学習意欲は向上したか。</li> <li>③指導と評価についての情報共有は進んだか。</li> <li>④教科横断的授業により目標とする力は育成できたか。</li> <li>⑤社会とのつながりを意識して生徒の批判的思考力が育成できたか。</li> <li>⑥生徒の企画力と協働性が高まり、多角的な視点を持つことができたか。</li> </ul> <p>(調査、アンケート)</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導・支援の組織的取組を推進し、たくましく生きる力の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒のセルフ・マネジメント力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①定期的に重点項目を設定してセルフ・マネジメント力を高める。</li> <li>②出席状況把握などとおして課題を早期発見し、家庭と連携して支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の学校生活への意欲が高まったか。</li> <li>②課題を早期発見し、組織的に支援できたか。</li> </ul>					
3 進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な教育活動をとおして、生徒が主体的に進路目標を定め実現していく力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒の第一希望実現のため、進路指導の体系化と組織的指導を推進する。</li> <li>②自己目標実現に資するキャリア教育を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①3年間の進路指導計画を見直し、進路相談体制の強化、学習意欲の喚起を組織的に行う。</li> <li>②模擬試験を活用して、自己の学力を客観視させ、自己の学習方法改善につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①家庭学習の時間が増加したか。</li> <li>②模擬試験のフィードバックにより、自己の学習方法を改善することができたか。</li> <li>③合格報告会等とおして、進路実現について</li> </ul>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				②新たな取組みとして合格報告会を実施する。	考えることができたか。(アンケート)					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育資源を活用し、未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する。</li> <li>・家庭、地域社会等との連携・協働により、持続可能な社会の創造を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・学びをとおして地域社会との協働を図る。</li> <li>・教育活動において、パートナーズと持続可能な連携を行う。</li> <li>②学校行事やテーマ研究等の学習活動で外部関係機関や地域と効率的に連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・生徒が参画し学びをとおして地域社会等との連携・協働を図る。</li> <li>・進路支援グループと連携して「進路を考える会」を実施する。</li> <li>②エキスパートレクチャーやフィールド発表会において外部と効果的に連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学びをとおして家庭、地域との協働ができたか。</li> <li>②外部との連携により教育的効果はあったか。</li> </ul>					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化に対応し、柔軟かつ迅速に教育課題に取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。</li> <li>・教育計画とのバランスを図り、教員の働き方改革を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・ICT環境の整備を充実させ、生徒の協働的な学びを支援する。</li> <li>②生徒の視点に立って業務を見直し、仕事の効率化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT環境整備、活用ルール作成、活用活性化を図る。</li> <li>②目的を同じくする教育活動の整理、閉庁日の設定、土日勤務の削減を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・ICT環境整備、ルール作成はできたか。</li> <li>・教員のICT活用が活性化されたか。</li> <li>・生徒の学びの支援となったか。</li> <li>②教育計画の整理、閉庁日設定、土日勤務の削減はできたか。</li> </ul>					